

# 町民の声

## 議会を傍聴して

ひまわり塾  
Y・M

私は自分が大きな思いがいをしている事に気づきました。

議会とはもっと深く追求した質問があり、質問に対して執務者の答弁、この繰返して議事を進行するものと思っていました。たまたま一般質問の議会傍聴では代表質問に担当課長の答弁で終わる。簡単に終わり、これで良いのだろうかと思いに思いました。

聴しました。総ての部門を傍聴しておりませんが、文教関係と総務を聞いて感じた事は、議員として自分が所属する部門についてどの位理解しているのだろうか。と疑問に思う点があり、理事者側も町内の実情を充分把握してほしいと強く感じました。松前町に住む者として欲張り過ぎるかも知れませんが、今から自立しなければならぬ松前町の行政に係る一員としての自覚を持って、住民と共に学び育たなければと強く思いました。

# 傍聴席



## 12月議会を傍聴して

平井 千代榮



12月14日に松前町議会第4回定例会を傍聴する機会を得た。

緊張した雰囲気の中で一般質問が始まった。ポランティア・福祉・教育・防災・行政改革等々、身近な問題から行政改革に至るまで住みよい松前町にするために質問が出された。

傍聴席にいる私も、質問内容を反すうし、この問題は、どうあるべきかと真剣に考えていた。時間があつという間に過ぎたように思う。

安心して子育てが出来るようにするには、どうあるべきなんだろう。老人たちが住みよい町は？と考え自分の答えを探りながら議場を見渡していた。

女性を含め各層の直面している課題の中から、要望、工夫、改善点を収集して、より生活に密着した問題も取り上げて頂きたいと思った。と同時に住民側である私共も議員の方々に伝えるべきだと感じた。

傍聴は、松前町女性

の集いのメンバーが中心だったが、若い方の参加もあり行政への関心が一層深まってくことを期待している。あの様に真剣に私たち松前町のことを考えて質疑応答されていることを、広く町民の方々に体験して頂きたいと感じた。

私は、傍聴することで、自分の意識を見直す機会を得たことを感謝している。



議 場